

休日出勤を全く解消する気はない会社 新幹線乗務員は2~3泊、昨年より悪化！ 「平成31年度要員計画」業務委員会

本部は4月15日、「平成31年度要員計画について」の業務委員会を開催しました。会社は、昨年より若干要員を増やしたと説明する一方、今年のGW10連休やお盆・年末年始輸送による列車増により、休日出勤は新幹線で2~3泊、在来線で1~2泊程度と回答しました。休日出勤の算出方法について、会社は「列車本数、要員、年休消化などの見込みで算出した」としています。

本部は、基準人員の算出方法について質問したところ、会社は「明らかにしない。裁判とは違う」として回答を拒否しました。また、本部は「基準人員の数字は何を指すのか」と質問したところ、会社は「業務を円滑に遂行するための目安」「要員はピークに合わせない」と回答しました。

年休裁判では、基準人員の算出方法を明らかにしているにもかかわらず、なぜ業務委員会で公表しないのでしょうか。本部は、その点についても追及しましたが、会社は頑な態度を変えることはありませんでした。そして、昨年よりも休日出勤が増えることについて、会社は全く努力をしていないことを追及しました。

会社の要員に対する考えは、業務が遂行できれば良しとするもので、休日・年休を完全消化しようとする意思は、微塵にも感じ取ることはできませんでした。

最後に、本部は「新幹線乗務員の勤務確定5日前発表の是正、前月25日勤務発表時における年休確定をせよ」と訴えました。